

市民のみなさんと日本共産党議員団は協同して

くらし・福祉・教育をまもってきました!

この20年の歩み



この4年間で実現できたこと

- ①国保料資産割の完全廃止を実現
- ②国保料均等割(家族1人に27,500円)のうち国は未就学児は半額に「子どもの均等割りをゼロに」の要求が一部実りました
- ③子どもの医療費無料化を中学校卒業までに
- ④福祉灯油を実現
- ⑤コロナ対策として、中小企業、飲食業等給付金支給を実現
- ⑥共産党議員が5年前から要求してきた学校給食費無償化の実現
- ⑦「生理の貧困」対策として小中学校保健室に生理用品を常備していることを知らせるポスターをトイレに張り出させる
- ⑧補聴器購入助成制度成立
- ⑨水道料基本料金減額実現(2ヶ月分)



日本共産党議員団は「住民の苦難あるところに共産党あり」の立党の精神を胸に刻み「市民とともに」くらしを守るためにがんばってきました。

今では「当たり前」になっていることも反対や妨害があってもブレず要求し続けてきたことにより実現したものです。もっとも身近な例は上にあるように「学校給食」や「補聴器」などです。

これから日本共産党議員団は「みなさんの願いを実現するために全力を！」と誓い合っています。これまでも、これからも！と。

鈴木・飯田・松浦各議員がみなさんと共に実現してきました

- ・介護保険利用料1割負担→住民税非課税世帯は3%に軽減
- ・学校トイレの洋式便器へ改修と業者による清掃実現
- ・未舗装の生活道路整備の計画的実施
- ・市発注公共事業の予定価格の事前公表実現… 落札価格下がって節税に
- ・多重債務の相談窓口の開設
- ・ゴミの祝日回収と生活保護世帯へのゴミ袋支給
- ・市道3・3・3本通りの右折帯の設置
- ・道立公園の歩くスキーコースの存続
- ・陸上競技場の夜間照明増設
- ・就学援助費にPTA会費、クラブ活動費、生徒会費も対象に
- ・市民健康プールの改善と使用料減免
- ・学校図書司書の配置人数増
- ・健康保険証1世帯1枚→1人1枚に
- ・西山通り線の排水路設置と歩道用空地対策と街路灯の増設
- ・錦町側の網走小の連絡階段の改修と防犯灯のLED化
- ・2中、桂陽高の通学路の安全対策と防犯灯のLED化
- ・海岸町一向陽ヶ丘の避難用階段設置
- ・福祉灯油
- ・住宅リフォーム助成の実現・拡大
- ・大曲湖畔園地整備実施計画を変更させる
- ・就学援助費の入学準備金を入学前に支給
- ・市営住宅駐車場に来客用スペース設置



民報あばしり

NO.1408 3月26日号 発行所 日本共産党 網走市委員会 網走市北八西三 四三二 四四五七

『あたらしい憲法のはなし』1947年 文部省 発行より

・日本の國がけつして二度と戦争しないように二つのことをきめました。その一つは、兵隊も軍隊も飛行機も、およそ戦争するためのものは、いっさいもたないということです。これからは「すててしまおう」ということです。しかしみなさんは、けつして心ほそく思うことはいりません。日本は正しいことを、ほかの國よりさきに行つたのです。世の中に、正しいことぐらいい強いものはありません。

流水

3月17日、国際刑事裁判所は子ども達の連れ去りに関与したとプーチン大統領に逮捕状を出した。ロシアのウクライナ侵略が始まって一年、ロシアは国連憲章を守れ。即時撤退せよ!! ▼岸田政権の憲法に反する安全保障政策の大転換に毎日宣伝カーを走らせ「大軍拡、大増税反対!!」「戦争は許さない!!」と、訴える。▼13日からマスクの着用が個人の判断となつたが、高齢者はマスクの着用がもう少しの間必須だ! コロナ感染の減少に専門家は「約5割の人がコロナに感染、自己免疫が出来たからでは」と、分析した。▼コロナ禍で一時帰国が遅れた息子が5年振りに帰る。東京の娘も合流、久しぶりの家族団欒、賑やかな食卓を囲んだ。北海道の味覚と温泉を楽しみにしていたと、ホテルは予約済。ビュッフェ形式の夕食は日本酒を片手に「此の味なんだよナー」と、刺身、寿司等を堪能、至福の時と満足す。懐石、鍋料理も食べたいと川湯のホテルへ、温泉は極上だが川湯温泉郷は曾ての賑わいは無く、摩周湖硫黄山には観光客の姿は無かった。帰りの藻琴山峠は青空が広がり斜里岳から知床半島まで美しく望めた。スノーシューを付けた人達が残雪を踏み登って行った。

アスリート爺